

2025,10,09

The Mail News



公式ホームページ



公式SNS (X)

No. 051

申8号

【10月9日 第1回団体交渉】

安全性を再確立し、多様性を重視した「ディーセントワーク」が
実現できる「組織再編」の実施を求める申し入れ

申8号交渉

曖昧な回答に終始する会社姿勢は容認できないため

入れる状況にない判断

中央本部は交渉開始にあたり、申3号交渉にて不明確であった「検討中」「調整中」の13項目について、改めて会社回答を求めましたが、会社は「今も鋭意検討している。ギアを一段上げていく考えだ」と開き直りともとれる回答を繰り返しました。

解明交渉では、組合が会社施策の内容を聞いているに過ぎないにも関わらず、申3号交渉終了後から1ヶ月以上経過しても未だに回答を示さないことは、成案になった施策とは言えません。

団交軽視は憲法と協約に違反する行為だ!
会社は憲法28条および労使間協約を守れ!

事業場の在り方について対立!

事業本部を一事業場とする考え方は「場所的観念」と定められた厚生労働省発基第91号「労働安全衛生法の施行について」に反することから、是正を求めましたが対立しました。

組合員の雇用、生活、労働条件、“命”を守るため
あらゆる手段を講じ

是正・解決を図っていくことを通告!

団体交渉の軽視は
断じて認められない!

中央本部は、組合員の利益を守るため
緊張感をもって会社に向き合っていきます